

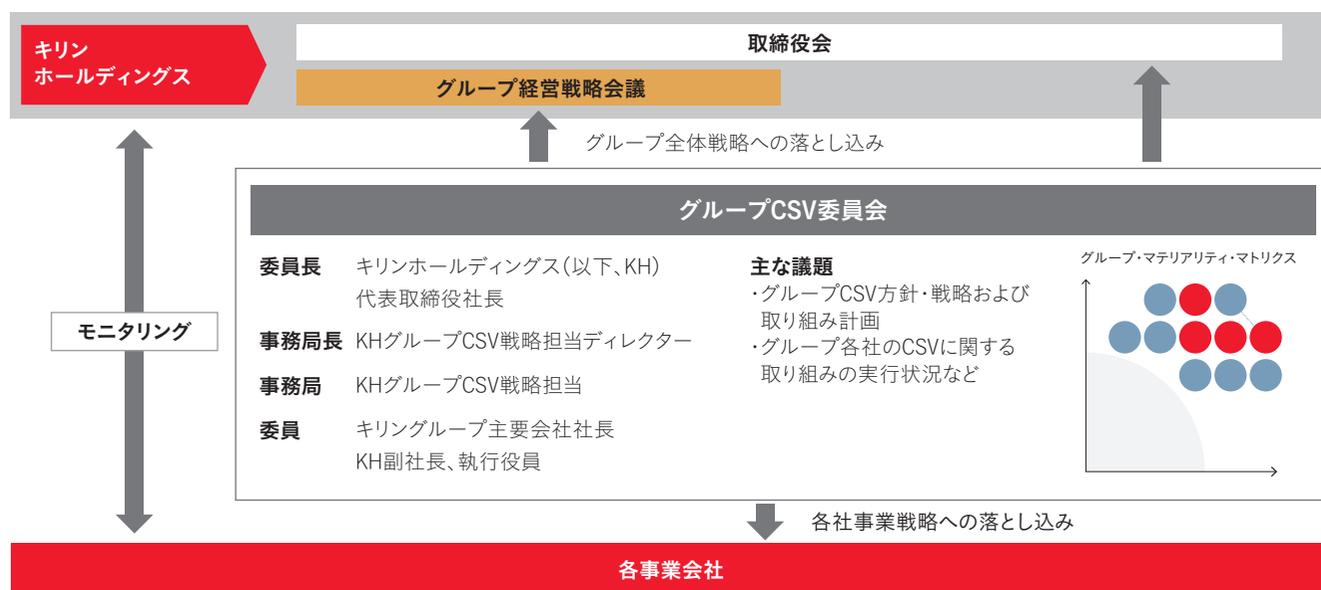
グループCSV委員会

キリングroupは、グループ各社がCSV経営を積極的・自主的に推進していくために、原則として年1回、「グループCSV委員会」を開催しています。キリンホールディングス社長が委員長を務める同委員会には、主要事業会社の社長も委員として出席し、CSVに関する方針・戦略や取り組み計画について討議するとともに、CSVコミットメントの実行状況をモニタリングしています。

同委員会で決定した内容は、必要に応じてキリンホールディ

ングスの「グループ経営戦略会議」や取締役会に付議・報告し、グループ全体の戦略へ反映させています。また、委員長はキリンホールディングスの各部門やグループ各社に対して、CSVの推進に必要な改善指示などを行い、委員会で決定した方針・戦略の実効度を高めています。事務局のキリンホールディングスグループCSV戦略担当は、CSVに関する情報提供や各社の取り組みの共有などを通じて、事業会社や主管部門を支援しています。

CSV推進体制



2017年度活動報告

2017年度のグループCSV委員会を6月8日に開催しました。当日は、ゲストとしてキリンホールディングスの独立社外取締役、取締役会議長であり、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン代表理事である有馬利男氏および(株)リそな銀行アセットマネジメント部責任投資グループグループリーダーの松原稔氏から、「ESGと企業価値評価について」と題してご講演いただきました。

その後、CSVコミットメント進捗の共有およびコミットメント共通の課題について意見交換を行いました。「『環境投資』については、環境面だけではなく設備投資全体で考え、その中に、中長期プランとロードマップに基づく環境投資も組み入れていく」「環境

投資は、プロジェクト全体のリターンにも目を向けるべき」「松原氏氏がご講演で触れられた、投資家としての評価項目(切実性、波及性、相反性、持続性、範囲性)について、グループとしてどういう認識をもつべきか」など、活発な議論が交わされました。



国連グローバル・コンパクトに沿った企業活動

国連グローバル・コンパクト(UNGC)は、各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組みづくりに参加する自発的な取り組みです。

UNGCに署名する企業・団体は、人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、腐敗の防止に関わる10の原則に賛同する企業トップ自らのコミットメントのもとに、その実現に努めています。

キリングroupは、2005年9月にUNGCへの参加を表明。社員をはじめステークホルダーとの関係やグローバルでのバリューチェーンを通じた企業活動の中で、UNGCの原則の実現に取り組んでいます。



社長メッセージ

私たちを取り巻く環境は大きく変化しており、様々な課題が顕在化・深刻化しています。こうした社会課題の解決に向けて、各国政府やNGOだけでなく、企業が積極的な役割を担うべきことは、グローバルレベルでの共通認識となりつつあります。国連による「持続可能な開発目標」(SDGs)やCOP21で採択された「パリ協定」など、世界の持続可能性向上に向けた最新の国際的フレームワークにおいても、企業に対してより主体的な取り組みが求められています。

私たちキリングroupは国連グローバル・コンパクト(UNGC)に署名して、グローバルな企業活動の中で社会的責任を果たすことを表明し、実行しています。UNGCの定める4分野(人権、労働、環境、腐敗防止)10原則を基盤として、社会と企業のサステナビリティ実現に向けて、グループを挙げて取り組みを推進しています。

また、SDGsについては、2017年にCSVコミットメントを策定・公表し、中長期的に事業を通じて課題の解決に貢献していきます。



代表取締役社長

磯崎功典

